



輝け！北っ子！

図書の寄贈 ありがとうございます ～学研まんが世界の歴史～

4日、「子どもたちの読書活動の充実に役立ててください」と図書の寄贈を受けました。ほんとうにありがとうございます。「名前を出さないで・・・」という強い希望があり、寄贈された方をご紹介はいたしません。心より感謝申し上げます。図書室にはもちろんたくさんのお本がありますが、子どもの興味のある内容や読みやすい本などは大変人気があります。早速開架の手続きをとって、子どもたちのもとへ届けたいと思います。

これから梅雨の時期に入ります。室内で過ごすことも多くなることが予想されます。この機会に是非ご家庭で読書の楽しさを子どもたちに伝えてあげてほしいと思います。本屋さんと一緒にいたり、図書館に出かけてみたり・・・たくさんのお本との出会いは人生を豊かにしてくれるはずですよ。



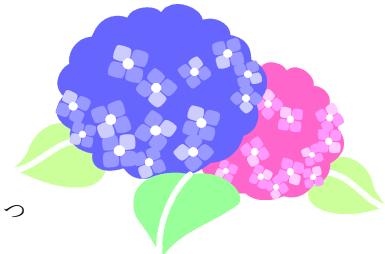
ちょっといい話 ～子どもたちの言動の背景を考える～

プール開きが終わり、いよいよ水泳シーズンを迎えるようとしています。先週から6年生の子どもたちを中心にこんな言葉を掛けてもらうことが多くなりました。

「校長先生、プール清掃ありがとうございました。」

保護者の皆さんもご存じのようにプールはシーズン前に清掃しなければ使用することはできません。実際、今までは子ども達と一緒にしていたプール清掃もコロナ禍のため、今年も職員作業で行い、私も時間を見つけて行ったのは事実です。しかし、これまでの教員生活の中で、子どもたちからプール清掃について感謝の言葉をもらったことはありませんでした。北小の子ども達から初めてです。とても素直でやさしい子どもたちに感激していました。自分の仕事が人の役に立っていると実感できる瞬間でした。子どもたちに逆に「感謝」です。

これまで、学校だより「ちょっといい話」の中で、子どもたちを中心として心温まる言動について紹介させてもらってききましたが、ちょっと立ち止まって考えみると子どもたちの言動は本当に素晴らしい事ではあります。その言動に向かわせる「背景・動機」がきっとあるはずだと思うのです。



それは、友達の姿かも知れません、担任の先生からの話かも知れません、本の影響かも知れません、お父さん・お母さんの言葉掛けかも知れません。要因は一つではなく、いろいろと絡み合っているのかも知れません。ただ、確かなことは何かがその子の心に引っかかりを作り、行動化へ向かわせたと言うこと。何が、その子の心にヒットするかは分かりませんが、多くの情報を伝え、多くの言葉掛けをしていくことはとても大切なことだと思うのです。子どものすばらしい言動の背景を想像するだけで、子どもと多くの人との関わりが見えてきます。多くの人への感謝の気持ちもわいてきます。ぜひ、子どもに行動だけにとどまらず、その背景も探ってみてはいかがでしょうか。子どもの心、子どもを取り巻く多くの人より明確に見えてくるかも知れません。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）

..... 切り取り線